

年末応援マルシェ

&もちつき大会 特集

【お問い合わせ】

甲府市下飯田1-2-18 Tel 055-236-3500 Fax 055-236-3505

担当 花輪啓子 (編集担当 村上)

発行日 2025年1月25日 共立介護福祉センターいけだ・特別養護老人ホームいけだの里

2024年12月22日(日)、共立介護福祉センターいけだで「年末応援マルシェ 生活エール in いけだ」を開催しました。

食料品や日用品などを用意した無料のマルシェです。

ふらっと立ち寄って必要なものを探していく・・・家にある眠っているものを置いていてもいい・・・そんな自由な市場です。



たくさんのご寄付を頂きました！

トイレットペーパーやティッシュなどの日用品、暖かい服やかばんなどの衣類や雑貨、大根やキウイフルーツ、乾麺、お菓子やおよそ200kgものお米など今回も食料品や日用品、衣類などたくさんのご寄付を頂きました。

近隣の企業では駐車場を貸してくださり、ポスターの設置やアナウンスにご協力くださったところもありました。

皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。

当日の様子

晴天にも恵まれて、なんと123名もの方がお越しくださいました。ご来場頂いた方々からは「お米も日用品もだんだん高くなってきているから助かります。」「欲しいものを選ぶのが嬉しいね。」などの声を頂きました。

そして、今回は特設ブースとしてあすなろ甲府薬局様の「お薬相談コーナー」、明治安田生命様の「血管年齢測定&野菜不足測定コーナー」、いけだセンター職員による「なんでも相談コーナー」があり、大盛況でした。

野菜不足測定ではなんと手のひらで野菜が不足しているかどうかを測定できるそうです。



もちつき大会



皆さんは、年末につくお餅と年始につくお餅の違いをご存じでしょうか？焼いて食べるか、御雑煮にして食べるかという話ではありません。

年末につくお餅は主に「鏡餅」としての意味があるそうです。鏡餅は、お正月に訪れる歳神様（としがみさま）にお供えするお餅で、歳神様はお正月になると各家々にやってきて、その家の1年間を守る神様だと言われています。

年始につくお餅は「歯固めの儀」という説があり、歯を固めて一年を健康に過ごせますようにとの願いを込めて餅をついて食べると言われています。



当日の様子



今年も年末応援マルシェと同時にもちつき大会を開催しました。インフルエンザの流行に伴い職員がぼつぼつ欠け、つき手と返し手不在という状況で高橋夫妻が助っ人指南役を買って出てくださいました。ふかしの指南もいただき、何とか無事につき終わりました。きなこ・ずんだ・あんこのつけこには今年も友和会の皆さんに来ていただき、地域の皆様の力なしではできなかった餅つきでした。皆様、ご協力ありがとうございました。

参加されたまいほ一むいけだの利用者様から「久しぶりに杵を持ったよ。重たいね。」という感想が聞かれ、餅をついている職員に「よいしょ！」と声掛けをしながら応援してくださる場面もありました。

今回のもちつき大会で完成したのがこちらの鏡餅です。今年もしっかりお供えして、守っていただきました。

参加してくださった方々には『きなこ・ずんだ・あんこ』の三つのお餅をご用意させていただきました。「美味しい美味しい！」と言っていただけでとても嬉しいです。

今後も地域との繋がりを大切にしながら、継続的にマルシェやもちつき大会を開催していきたいと思えます。

年末応援マルシェ、もちつき大会にご協力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

